



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,776人
男子	3,324人
女子	3,452人
世帯数	2,274戸
(22年6月末現在)	

野焼きのはにわ 二子塚古墳に並ぶ 第三回 古墳まつり盛大に開催!

絶好の晴天のもと、はにわの野焼きや勾玉づくり、火おこし体験、古墳見学など様々な催しが行われ、子どもたちからお年寄りまで約三百人が参加しました。

竜丘公民館、地域づくり委員会、古墳公園・白井川秘境遊歩道整備委員会、竜丘古墳を考える会などで構成する竜丘古墳まつり実行委員会主催の竜丘古墳まつりが、五月十六日に桐林の塚原二子塚古墳を中心に開催されました。

竜丘地区は、古墳時代から馬の生産や集積を扱う人々の集落があり、多数の古墳が作られました。県内でも有数の古墳群で百四十一基の古墳が存在したといわれます。

開催会場となった塚原古墳群は、十六の古墳からなり、開催会場となった二子塚古墳では、各種体験コーナーとはにわの野焼きが、桐林市民農園駐車場には竜丘の古墳に関するパネルや出土品の展示など紹介コーナーが設けられました。

三回目となる今年は、竜丘小学校六年生が作製した円筒はにわを野焼きしました。はにわ作りは、地域学習の一環として授業で行われました。教育委員会の職員から古墳やはにわの説明を受け学習した後、四月下旬に、はにわ作りをしまし

た。瓦粘土をよく練り塩ビ管に巻き付け、高さ三十五センチの円筒形のはにわを作りました。制作には、古墳まつりの実行委員が指導役として参加し、交流を兼ねて一緒に楽しみました。

野焼きは、早朝より行われ、ひびが入らないよう最初は遠火で満遍なく焼き、その後、おきの上で焼き上げました。昼前には自然な土色のはにわが焼き上がりました。焼き上がったのはにわを、

塚原二子塚古墳にずらりと並べると、古墳時代の光景が蘇ったようでした。時又保育園のマーチングバンドと鈴岡太鼓の演奏で幕を開け、開会式の後、勾玉づくりなどの様々な体験をしました。勾玉作りは、口ウセキをヤスリで削りラッカーでツヤをだし、ひもを付けて完成となります。勾玉は、古代から魔よけ、幸運を招く石、護符として大切にされてきました。子どもたちは、夢中で取り組みもたちらに、子ども

この他に、木をこすり合わせる原始的な方法での火おこし体験や、古墳見学では、市教育委員会の職員から、古墳について説明を受け理解を深めました。また、熱々のタケノコ汁や焼き

た。木下陸奥前公民館長も同行し、木下さんがまとめられた「竜丘自由教育の真髄をさぐる」を紹介するコーナーも設けられました。その後の懇親会では、学年ごとのテーブルに分かれて思い話に花を咲かせました。この会で今村豊秋自治会長は「ふるさと竜丘に対する期待を寄せてほしい」と語り、竜丘を離れてもお、ふるさとに思いをよせて暮らしている方々ともに、竜丘の地域づくりを進めていくことを再確認しました。

「政権交代」「改革」「チェンジ」など、ここ数年でよく耳にする言葉である。「何かを変える」と言葉では簡単に表現できるが、実際に変えるとなると、大変なパワーや努力、時間などが必要になってくる。また、考え方・習慣なども変えないと変わらない事もある。今の政界を見ていると、まさに、後者のおりではないでしょうか?

何かが変わるとまた、色々な問題が生じてくる。今年三月に開通した天龍橋の一つの例としてみる。長年の習慣が身についている為か、駄科方面に向かって運転している、突然家のかけから車が出てくる。「なんで?」と思い、ブレーキを踏む。「橋が出来たんだよなあ」と改めて思い、ブレーキをゆるめ、直進する。そんな日々が流れると自然に習慣が身に付きますが、注意をうながす表示があると良いのではと思ったりもします。

先日、竜丘公民館で、長野県館報研究会が行われた。編集のやり方・人員構成など、どこでも悩みながら行われている事が話し合いの中で報告された。

現在読まれている「館報たつおか」ですが、見慣れた紙面を変えようとは、違和感があるでしょうか。やってみないと何ともいえませんが、他地区の館報を見たり話しを聞いたりする事で、こんな紙面もあるのかと思

っている所です。今回、二色刷りの紙面にしてみました。御意見をお待ちしております。

古墳まつりの感想

牧内佑奈さん
(上川路)

古墳まつりで朝六時からはにわを焼いてくれました。焼きあがる前と後では、音もちがっていました。ちよくちよく見にいきたびに色がかわつてとつてもワクワクしました。

焼きあがったら、少しひびが入っていたけど、われなかつたのでうれしかったです。

古墳の上へならべてみると、意外に小さいんだなあと感心しました。

はにわをずっと焼いている人たちが、われないように上手に焼いてくれたのでうれしかったです。ありがとうございました。

堀内風花さん
(駄科)

焼くと割れるってきいたから、空気が入らないように指でならしたりしたら、少しひびが入ってしまったけど割れなかつたので安心しました。

変形もしなかつたので良かったです。色も茶色っぽかったり、おうど色っぽかったりいろんな色が混ざって焼き上がっておもしろかったです。

灰色のすすが付いて焼いた感じが出ていてとても満足しました。

はにわ作りから焼くところまで協力してくれてありがとうございました。

はにわ作りから焼くところまで協力してくれてありがとうございました。



はにわの野焼き



勾玉づくりの様子



慢性腎臓病に気をつけて

福祉健康講演会から

今、慢性腎臓病患者が増えているそうです。なげででしょうか。そして、慢性腎臓病に罹らないように

六月十四日に福祉健康委員会の主催で、慢性腎臓病にかかわる講演会が開かれました。講師は下條村にある中島医院院長の中島貞男先生です。

慢性腎臓病が増えってきた背景には、生活習慣病である高血圧、糖尿病あるいは最近よく耳にするメタボリッ

ク症候群との関係があるそうです。そして、高血圧や糖尿病の状態が続くと腎臓が痛んでくるのです。また慢性腎臓病は、早く見つけて早く治療することが大切だとの話しもありました。

しかし、自覚症状が出ていく病気のため、尿検査の必要性も話されました。日々の生活においては、感染症予防、過労を避けること、暴飲暴食をしないこと、血圧や体重管理に気を配ることなどが大切とのことでした。

多くのデータを元にした中島先生のお話は、とても分かりやすく説得力のあるものでした。慢性腎臓病に対する認識が深められたように思います。

東京竜丘会

去る五月二十四日、第十一回東京竜丘会総会がアルカディア市ヶ谷を会場に開催されました。

この会は関東圏に住む竜丘出身の方々約六百人で構成されており、一九九四年より二年に一回総会を開催しています。当日は、会員と地元産の野菜や地元企業のお土産を手配し、竜丘自治会や地域づくり委員会の役員、市議等をお招きし、約百人の参加がありました。

総会では岡村隆臣会長のあいさつに続き、議案の承認が行われ、その後、「リニア新幹線と南信州」と題した講演会が南信州新聞佐々木記者を講師に行われました。JR東海の計画の概要や経路の問題、飯田駅にかかる費用負担等についてのお話をお聞きし、リニア飯田駅設置推進協議会の趣意書の配布も行われました。



第11回東京竜丘会 ~恋しきかな ありがたきかな故郷~

また、木下陸奥前公民館長も同行し、木下さんがまとめられた「竜丘自由教育の真髄をさぐる」を紹介するコーナーも設けられました。その後の懇親会では、学年ごとのテーブルに分かれて思い話に花を咲かせました。この会で今村豊秋自治会長は「ふるさと竜丘に対する期待を寄せてほしい」と語り、竜丘を離れてもお、ふるさとに思いをよせて暮らしている方々ともに、竜丘の地域づくりを進めていくことを再確認しました。

ヤフ

「政権交代」「改革」「チェンジ」など、ここ数年でよく耳にする言葉である。「何かを変える」と言葉では簡単に表現できるが、実際に変えるとなると、大変なパワーや努力、時間などが必要になってくる。また、考え方・習慣なども変えないと変わらない事もある。今の政界を見ていると、まさに、後者のおりではないでしょうか?

何かが変わるとまた、色々な問題が生じてくる。今年三月に開通した天龍橋の一つの例としてみる。長年の習慣が身についている為か、駄科方面に向かって運転している、突然家のかけから車が出てくる。「なんで?」と思い、ブレーキを踏む。「橋が出来たんだよなあ」と改めて思い、ブレーキをゆるめ、直進する。そんな日々が流れると自然に習慣が身に付きますが、注意をうながす表示があると良いのではと思ったりもします。

先日、竜丘公民館で、長野県館報研究会が行われた。編集のやり方・人員構成など、どこでも悩みながら行われている事が話し合いの中で報告された。

現在読まれている「館報たつおか」ですが、見慣れた紙面を変えようとは、違和感があるでしょうか。やってみないと何ともいえませんが、他地区の館報を見たり話しを聞いたりする事で、こんな紙面もあるのかと思

っている所です。今回、二色刷りの紙面にしてみました。御意見をお待ちしております。



より住みやすい竜丘に 市政懇談会開催



六月一日、竜丘公民館において竜丘地区の市政懇談会が行われました。自治会と地域づくり委員会が主催し、地区住民百二十人余が参加して、牧野市長などと懇談しました。

初めに今村豊秋地域づくり委員長から「この懇談会が市にとっても地域にとっても有意義な時間となるように期待する」とあいさつがありました。

今回の懇談会は二部構成で行われました。前半は市長が今年度の市政経営の方針と竜丘地区に関する重点事業等について説明し、またリア中央新幹線飯田駅設置に向けた地域づくりへの協力を求めました。後半は地域課題などについてフリートーク形式で市長と懇談を行いました。

市長との懇談で出された主な意見や質問は次のとおりです。

- ▽が意見等、△が応答
- △働く女性が増え、長期休暇を取れないために地域で預かる場所を作れないかと相談されている。
- ▽竜丘地区は放課後子ども教室や児童クラブで活発に対応されている。拡充については地域の皆さんと検討していく。
- ▽地域で管理する遊具の点検が課題であり、事故があった場合の対応等について不安である。

▽市所有の遊具は市の責任で点検を行っている。どのように点検するか全市民的な課題として検討していく。

▽自治会と地域づくり委員会のあり方について考えていく必要がある。

▽地域自治組織導入から三年経過し、各地区見直しが始まっている。

このほか自治会未加入世帯が増加していることや、凍霜害の影響を受けた規格外の果樹を販売する対策をとることなどの意見等が寄せられました。

懇談の終わりに、今村地域づくり委員長から、すばらしい竜丘を作っていくために「竜丘のあるべき姿」について検討を始めていくとの話があり、地域の皆さんから意見をお寄せいただきたいとのお願いがありました。

住民一人ひとりが日常的に地域の課題等を議論できる場があれば、竜丘はより住みやすい地区になると感じます。

地域に育まれる学校づくり

竜丘小学校長 市澤 英利

四月から本校にお世話になって、一学期が終わりです。本校が、様々なご支援ご協力を得て運営されていることを改めて実感しています。

四月三十日に行った「丘の道しるべ探査」では、地域の方々に案内していただき、「古墳をいっぺいに見てきて、初めて知ったところの古墳があったので、ここが古墳だったんだなあ」とすこぶびっくりしました。こういった感想がありました。この探査で、子どもたちは地域の文化財が大切にされながら、地域づくりが進められている一端を目の当たりにしました。

今年度から地域の達人の技に触れ、技を身につけることをねらったクラブ活動に取り組みしました。毎回、三十人から四十人の方の支援をいただいで、地域の文化活動の一端を子どもたちに伝授いただいております。竜丘地区で行われている文化活動が次世代に継承され、豊かな地域づくりにつながっていくと考えます。

成長段階の子どもたちは学校で、将来豊かな社会生活を送るための基礎となる学力や社会性を養っています。子どもが一人前になっていくには、多くの方々の支えによるなければ不可能です。「子どものすなおさ」と「のもしさ」をみんなで育んでいける郷「竜丘」と私なりに思う地域づくりを、地域の方々のご支援も得ながら担っていきたく考えます。

恒例となった 竜丘・夏の熱戦 夏季スポーツ大会

恒例となった、竜丘・夏の祭典「夏季スポーツ大会」が、去る六月二十日に小学校とサンヒルズを会場に、ベタンクとソフトボールの二種目の競技が繰り広げられました。

当日は、心配された天候も、なんとか小雨で無事に開催することができ、サンヒルズの会場では、木下公民館長の始球式で大会の幕が開きました。

ソフトボールの試合には各分館対抗のうちに、女子ソフトボールチームの「竜丘レディース」が加わって熱戦が繰り広げられ、会場のあちらこちらで大きな歓声があがっていました。

小学校で行われたベタンクでは、大きなコートの中で、数センチを競う程に白熱したゲームもあり、大きな歓声が響きわたっていました。年齢層も幅広く、世代を越えた交流のできる手軽で楽しいスポーツでした。



各試合の結果は、次のとおりです。

ソフトボール
優勝 時又 二位 駄科 (ベタンク)

優勝 長野原 二位 上川路



パソコンを学ぶ児童たち

その都度どのような技能能力を身につけたらよいか、のぞんだつもりです。子どもさんが素直であり、正直でした。逆に一緒に学ぼうという意欲が出ました。

(書道・馬島さん)

針を持ったことのない子どもさん達でしたが、取り組んだら熱心に頑張ったので、大きな夢と希望をあたえられて良かったと思えました。

(手芸・橋本さん)

クラブ活動に参加して

思いがけず小学生との交流、勉強の機会を与えて頂き、今日一日、余生を大切に思う日々の私に

グループ紹介

地域に密着して活動 竜丘ボランティアの会

私たちは竜丘ボランティアの会は、昭和六十年に発足当初は七十人近い会員で活動していましたが、現在は貴重な男性一人を含む四十五人で、地域福祉の向上に少しでもお役に立てていただけたらと願って、地道に無理のない地域に密着した活動を推進しています。

主な活動として、一人暮らしの方をお招きして、年に二回春と秋に行う一人暮らしの方をお招きしての食事会・やはり一人暮らしの方へ安否確認の友愛訪問・中部デイサービスセンターへ、一年中の金曜日の午前中利用者の皆さんへのお茶の接待とお話相手、毎月第一月曜日にシート交換のお手伝いをしてい、その他お花見、バーベキュー、



ゆいの里の記念事業のお手伝い

クラブ名	紙	道	芸	句	棋	工	紙
1 絵手紙	2 力道	3 書道	4 調理	5 調理	6 芸	7 陶芸	8 ITパソコン
9 俳句	10 ゲートボール	11 雅(茶道他)	12 話	13 切り彫り	14 切り絵	15 木工	16 囲碁
17 将棋	18 細工	19 折り紙	20 おしなご(お手玉)				

我が家の孫達は遠く離れていて、小学校にはずっと縁がなかったですが、この度、呼んでいただいていたにも楽しい思い出を共有しました。私の母校でも



クラブ発表会でハーモニカを披露